

令和元年度

事業報告

(明細書を含む)

社会福祉法人 ふしの学園

目 次

I 法人本部の概況

1	評議員会の開催状況	1
2	理事会の開催状況	2
3	監事による監査	3
4	理事長及び常勤理事の協議	3
5	主な資産の増加	3

II ふしの学園宮野の里の概況

1	利用者の動向等	4
2	生活介護事業	7
3	ふしのエコ事業所	7
4	共同生活援助での支援	7
5	施設の開放等	8
6	行事等の実施及び参加	8
7	苦情解決第三者委員会議の開催	9
8	短期入所事業及び日中一時支援事業	10
9	保護者との連携	10
10	保健・給食・安全	10
11	職員の健康管理	10
12	職員研修	11

III ふしの学園第2宮野の里の概況

1	利用者の動向等	12
2	健康管理	14
3	生産活動支援	16
4	生活支援	16
5	行事・社会参加活動支援	18
6	保健・給食・安全	20
7	短期入所事業・日中一時支援事業	23
8	保護者との連携	24
9	苦情処理（苦情解決第三者委員への報告）	24
10	施設の管理運営	25
11	職員の健康管理	27

I 法人本部の概況

1 評議員会の開催状況

開催年月日	議 題	出席状況	備 考
第1回 評議員会 R1.6.24	《議案》 1 平成30年度社会福祉事業区分会計の決算に係る計算書類等（案）について 2 理事及び監事の選任（案）について 《報告》 平成30年度事業報告について	評議員 9名 理事長 理事 2名	
第2回 評議員会 〔書面決議〕 R2.2.23	《議案》 1 令和元年度社会福祉事業区分会計の補正予算（案）について 2 令和2年度事業計画（案）について 3 令和2年度社会福祉事業区分会計の予算（案）について 4 社会福祉法人ふしの学園定款の一部変更（案）について 5 令和2年度理事及び監事の報酬等の額（案）について		書面提出 13 13人中

2 理事会の開催状況

開催年月日	議 題	出席状況	備 考
第1回 理事会 R1.6.7	《議案》 1 平成30年度事業報告（案）について 2 平成30年度社会福祉事業区分会計の決算に係る計算書類等（案）について 3 社会福祉法人ふしの学園定款の一部変更（案）について 4 指定共同生活援助事業（グループホーム）運営規程の一部改正（案）について 5 令和元年度定時評議員会の招集事項（案）について 《報告》 社会福祉法人ふしの学園理事長の職務執行状況について	理事長 理事 5名 監事 1名	
第2回 理事会 R1.6.24	《議案》 社会福祉法人ふしの学園理事長の選定（案）について	理事長 理事 6名 監事 2名	
第3回 理事会 R2.2.28	《議案》 1 令和元年度社会福祉事業区分会計の補正予算（案）について 2 令和2年度事業計画（案）について 3 令和2年度社会福祉事業区分会計の予算（案）について 4 社会福祉法人ふしの学園定款の一部変更（案）について 5 施設長の選任（案）について 6 社会福祉法人ふしの学園給与規程の一部改正（案）について 7 指定就労継続B型事業運営規程の一部改正（案）について 8 社会福祉法人ふしの学園経理規程の一部改正（案）について 9 社会福祉法人ふしの学園職員処遇改善一時金支給規程の一部改正（案）について 《報告》 社会福祉法人ふしの学園理事長の職務執行状況について	理事長 理事 5名 監事 2名	
第4回 理事会 〔書面決議〕 R2.3.16	《議案》 令和元年度第2回評議員会の招集事項（案）について		書面提出 8人 8人中

- 3 監事による監査
実施日：令和元年 5月29日
監事出席 2名
立会者：理事長、理事2名
- 4 理事長及び常勤理事の協議（平成31年4月～令和2年3月）
31回 実施（※別紙参照）
- 5 主な資産の増加
（1）宮野の里
①屋上防水
②食堂床一部張り替え
③男子寮1階ランドリー汚物流し交換・床張り替え
④男子寮1階トイレ和式を洋式に変更（1ヵ所）
- （2）第2宮野の里
①井水ポンプ交換
②女子寮衣類乾燥機2台更新

Ⅱ ふしの学園宮野の里の概況

1 利用者の動向等

	定員 (人)	平成31年度 当初	利用開始 (人)	利用中止 (人)	令和元年度 年度末
施設入所支援（夜間等）	50	50	0	1	49
共同生活援助（夜間等）	8	5	0	0	5
生活介護（日中）	80	74	1	1	74
就労継続支援B型（日中）	20	16	2	0	18

※ 利用開始、中止の理由等

●施設入所支援（夜間等）

《利用中止》令和 2年 3月 19日（男性）死亡

●生活介護（日中）

《利用中止》令和 2年 3月 31日（男性）入院継続のため

《利用開始》平成31年 4月 1日（男性）新規契約（支援学校卒業後）

●就労継続支援B型（日中）

《利用開始》令和 元年 11月 20日（男性）新規契約

《 ” ” 》令和 2年 3月 30日（男性）新規契約

（1）平均年齢（令和2年3月31日現在）

施設入所支援	共同生活援助	生活介護	就労継続支援B型	計
56歳3ヶ月	59歳4ヶ月	47歳4ヶ月	52歳6ヶ月	48歳4ヶ月
年齢幅	27歳～82歳	年齢幅	18歳～82歳	

（2）平均在園年数（令和2年3月31日現在）

施設入所支援	共同生活援助	
30年8ヶ月	ホーム①（3人） 17年5ヶ月	ホーム②（2人） 10年11ヶ月

(3) 障害支援区分 (令和2年3月31日現在)

支援区分	生活介護 (日中)	就労継続支援 B 型 (日中)	計	施設入所支援 (夜間)	グループホーム (夜間)	計
非該当	0	4 (未判定 3)	7	0	2	2
1	0	0	0	0	0	0
2	0	4	4	3	0	3
3	3	6	9	5	3	8
4	2 4	0	2 4	1 3	0	1 3
5	3 8	0	3 8	2 4	0	2 4
6	7	0	7	4	0	4
合 計	7 2	1 7	8 9	4 9	5	5 4

(4) 家庭の状況 (令和2年3月31日現在)

	施設入所	通所(生活介護・就労継続B型)	グループホーム
両親あり	1 0	2 4	2
片親のみ	1 2	9	0
両親なし	2 7	6	3
計	4 9	3 9	5

(5) 入院状況 (施設入所者)

診療科目	人 数	日 数	備 考
神経内科・精神科	1 名	3 日	3 日
内 科	3 名	4 4 日	2 6 日、1 3 日、5 日
外科・整形外科	2 名	8 2 日	1 1 日、7 1 日
皮膚科	1 名	8 日	8 日
合 計	7 名	1 3 7 日	

*定期的に面会し、物品の差し入れ以外にも精神的サポートに努めた。

(6) 通院延べ日数（施設入所者）

診 療 科 目	日 数	診 療 科 目	日 数
内 科	5 1 7 日	放 射 線 科	1 1 日
眼 科	1 8 日	精 神 科	9 9 日
皮 膚 科	5 2 日	婦 人 科	6 日
外科・整形外科	9 1 日	泌 尿 器 科	7 日
歯 科	1 3 0 日	耳 鼻 科	6 日
合計 9 3 7 日			

●春の健康診断での指示により、内科・泌尿器科・放射線科（CT）対象者が年々増加している。

●特定年齢（65歳以上）該当者2名について、肺炎球菌ワクチンを接種した。

(7) 定期健康診断等の実施状況

実施年月日	H31.3/18~R1.5/9	R1.10/16	R1.10/10、11/19 12/12
実施場所	奥田胃腸科内科	第2宮野の里	宮野の里
担当医師	奥田 道有	児玉 昭彦（歯科医）	奥田 道有
対象者数	5 5 名	8 4 名	5 5 名
要経過観察	1 名	6 4 名	6 名
要精密検査	2 3 名	0 名	0 名
要治療	0 名	1 5 名	0 名

2 生活介護での支援

(1) 生産活動支援

令和元年度の生活介護事業における班別利用者数・職員配置と、生産活動等で得た売上の状況は次のとおりであった。

班 別	利 用 者 数	職 員 数	売上金額 (単位：円)
窯 業 班	16名	2名	565,042
洋 裁 班	9名	2名	363,055
箱 班	13名	3名	538,760
タ オ ル 班	13名	3名	1,514,953
い き い き 班	21名	6名	936,211
		フリー 1名	
合 計	72名	17名	3,918,021

(注) ①利用者数は令和元年度末時点

②売り上げ合計 - 必要経費 = 利用者支給金
 (3,918,021 円) (1,382,758 円) (2,535,263 円)
 平均 2,894 円/月 (利用日数に応じて支給)

(2) クラブ活動：3 B体操・DVD鑑賞・カラオケの班に分かれ、月に2回活動した。

(3) 余暇活動：ドライブ、食事会、調理、手工芸、サーカス鑑賞、果物狩りなどの活動を、各作業班で月に一度行った。

3 ふしのエコ事業所（就労継続支援B型事業）での生産活動支援

(1) 具体的生産活動

便利屋事業（一般廃棄物収集運搬・草刈り・草取り・剪定・グラウンド整備など）の売り上げも、営業努力やロコミなどによる効果が表れ、順調に伸びた。それに伴い利用者の工賃も着実に向上した。

(2) 売上実績

32,307,639 円

(3) 支給実績

売上実績 - 必要経費 (16,038,617 円) - 設備等整備積立金及び工賃変動積立金
 (3,747,932 円) = 利用者工賃 (12,521,090 円)
 平均工賃 (17名) 63,559 円/月

4 共同生活援助での支援

地域の中にある住宅を活用し設置している、「ふしのホーム1」及び「ふしのホーム2」で生活を営む利用者（5名）に対して、世話人3名により日常生活における援助を行った。

5 施設の開放等

(1) ふれあい型給食サービスの調理受託（平成12年10月5日から開始）

実施日 毎月1回

対象 宮野地区内の調理や買い物が困難な高齢者 100名

事業主体 宮野地区社会福祉協議会

受託料 70万円

(2) 社会福祉実習教育を通じて、地域福祉の増進、地域の総合的な福祉の発展に寄与することを目的とした「包括的な連携協力に関する覚書」を山口県立大学と締結した。

締結日 令和2年3月30日

(3) 施設実習等の受け入れ

① 山口県立山口総合支援学校・山口県立山口南総合支援学校・山口大学教育学部附属特別支援学校生徒の体験実習

② 山口県立大学・山口学芸大学ほか県内大学・短期大学・専門学校学生・中村女子高等学校生徒の各種資格取得のための介護等の体験実習

③ 一般市民や他施設・団体からの体験及び施設見学等

(4) その他の地域交流

① 焼き物教室の開催

宮野幼稚園での焼き物教室 10月11日（金）参加者22名

② 「奉仕の日」の活動

地域の河川清掃（ふしの川の清掃） 利用者5名、職員2名参加

山口県立大学共同募金サークルMEP とふしの学園が共同で募金活動

街頭募金への参加 職員2名

③ 地域の障がい児を対象とした「防災ピクニック」の開催

日時 10月28日（月）10時～12時

参加者 地域の障がい児とその保護者、防災士、民生委員、市議会議員、民間保育園園長、山口県立大学学生、宮野の里職員

④ 民生委員等の研修会開催への会議室の貸し出し

(5) 広報活動

広報誌「ふしの学園だより」を年2回（5月10月）発行し、関係行政機関（団体）や保護者会役員などに配布した。

6 行事等の実施及び参加

(1) 対外行事等

① 宮野ホテルまつり

6月 8日（土） 利用者20名、職員5名参加

② ナイスハートふれあいスポーツ広場（主催：マツダ労連）

6月16日（日）防府市ソルトアリーナ 利用者16名、職員3名参加

③ 利用者旅行

●生活介護：広島方面

箱班、タオル班・・・7月 3日（水）～ 4日（木）

窯業班、洋裁班・・・7月 9日（火）～10日（水）

いきいき班・・・7月 18日（木）～19日（金）

●就労継続支援B型

宿泊研修・・・7月19日（金）～20日（土）宇部市

研修旅行・・・10月25日（金）～26日（土）佐賀県武雄市方面

④ 創立50周年記念第39回ふしの学園祭

11月9日（土）

⑤ 還暦、成人祝いの会

3月11日（水） 還暦3名、成人1名

(2) 障害者スポーツ関係

- ① 第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ大会）派遣選手選考会
 5月12日（日） 陸上競技 3名参加 引率職員1名
 5月26日（日） フライングディスク競技 5名参加 引率職員1名

② 令和元年度宮野地区ロードレース大会

12月 1日（日） 3名参加 引率職員1名

(3) 催事及び展示即売会への参加

9月25日（水） 山口市健康増進老人福祉大会 職員2名
 10月 5日（土） ひらきの里コスモス祭り 職員2名
 10月20日（日） 宮野まつり 職員2名

7 苦情解決第三者委員会議

* 3月に開催予定を中止（感染症対策）

苦情受付件数 宮野の里 2件
 ふしのエコ事業所 0件
 ふしのホーム 0件

番号	受付日	申出人	苦情の内容
1	4月10日	本人	他利用者の生活態度に関する事項
2	10月9日	本人	他利用者の生活態度に関する事項

●苦情解決第三者委員	
伊藤ルリ子	人権擁護委員 元民生・児童委員
杉山 昭郎	ふしの学園を育てる会会長、元民生・児童委員
平野 充好	元京都女子大学教授 元山口大学副学長
●苦情解決責任者	施設長
●苦情受付担当者	支援課長・サービス管理責任者

8 短期入所事業及び日中一時支援事業

●短期入所	利用回数	236回
	延利用日数	644日

●日中一時支援	利用回数	491回
---------	------	------

9 保護者との連携

- (1) 第46回手をつなぐ育成会福祉・教育振興山口県大会（職員2名参加）
9月29日（日） 下関市 菊川ふれあいセンター
- (2) 保護者会、保護者会総会（宮野の里会議室で開催）・・職員4名出席
5月10日（金） 保護者会総会
8月9日（金） 保護者会
12月13日（金） 保護者会
- (3) 利用者の生活状況や活動状況等を掲載した「糸でんわ」を毎月発行し各保護者宛てに送付した。

10 保健・給食・安全

- (1) 健康管理
 - ① 春の健康診断（3月～4月）、秋の健康診断（10月～12月）実施
 - ② インフルエンザ予防接種（11月26日）
 - ③ 嘱託医による診察（毎月定期・内科）
 - ④ 体重測定（毎月）
 - ⑤ 歯科検診の実施（10月16日）
 - ⑥ 肺炎球菌ワクチン接種（対象者のみ）
- (2) 給食指導実施状況
 - ① 個人別食事摂取基準量の設定
 - ② 刻み食・とろみ食の提供
 - ③ 嗜好調査の実施（11月）
- (3) 安全対策
 - ① 消防署に事前に届け出を提出し、火災を想定した避難訓練を年2回実施した。
 - ② 電気工作物の維持・運用に関する保安を確保するため、中国電気保安協会に依頼して「自家用電気工作物点検」を年6回実施した。
 - ③ 消防用設備の維持管理のため、（有）ハッタ防災山口に依頼し「消防設備等点検」を年2回実施した。
 - ④ 施設内外の警備、火災等の非常災害の未然防止を目的に、夜勤者が定時に施設内外の巡回を行った。
 - ⑤ 防犯カメラの設置により防犯に努めた。

11 職員の健康管理

- (1) 健康診断
 - 夜勤及び準夜勤勤務職員（16名）・・・2回／年
 - その他の職員（29名）・・・1回／年
- (2) 保菌検査
 - 栄養士及び調理員等（11名）・・・1回／月
- (3) インフルエンザ予防接種（44名）

12 職員研修

県社会福祉研修所における各種研修会、または県社会福祉協議会等が行う研修会、関係団体が実施する次のような研修会に出席させ、職員の資質の向上に努めた。

- (1) 障害者福祉施設職員研修
(基礎) 5月8日(水) 22日(水) 山口県セミナーパーク
- (2) 強度行動障害支援者養成研修
(基礎) 6月26日(水)～27日(木) 山口県社会福祉会館
(実践) 12月16日(月)～17日(火) 山口県社会福祉会館
- (3) 給食担当職員(栄養士)研修
6月26日(水) 山口県セミナーパーク
- (4) 支援スタッフ研究会
9月 5日(水)～ 6日(木) サンルート国際ホテル山口
山口・防府圏域研究会 7月24日(水)
- (5) 中国四国地区施設職員研究協議会
7月25日(木)～26日(金) 徳島県
- (6) ソーシャルワーク研修
7月30日(火) 山口県セミナーパーク
- (7) 福祉職員キャリアパス対応研修
(初任者) 8月 1日(木)～ 2日(金) 山口県セミナーパーク
8月 7日(水)～ 8日(木) //
- 8月19日(月)～20日(火) //
- (管理職員) 8月29日(木)～30日(金) //
- (中堅) 9月 2日(月)～ 3日(火) //
- (チームリーダー) 10月 8日(火)～ 9日(水) //
- (フォローアップ) 11月26日(火) //
- (8) カウンセリング(技法)研修
9月4日(水)～5日(木) 山口県セミナーパーク
- (9) 障害者雇用セミナー
10月18日(金) セントコア山口
- (10) 第57回全国知的障害福祉関係施設職員研究協議会(鹿児島大会)
10月22日(火)～23日(水) 鹿児島県
- (11) 山口県総合社会福祉大会
10月24日(木) 光市 光市民ホール
- (12) 障害者虐待防止・権利擁護研修
11月8日(金)、12月13日(金) 山口県セミナーパーク
- (13) 第31回山口県知的障がい施設福祉振興大会
11月21日(木) 岩国市パストラルホール
- (14) 福祉避難所設置運営実務研修
12月20日(金)、2月4日(火) 山口県庁
- (15) 園内研修
9月26日(木) ノロウィルス対策
12月26日(木) 虐待防止・権利擁護研修復命研修

Ⅲ ふしの学園第2宮野の里の概況

1 利用者の動向

第2宮野の里における入所利用者の年齢構成については、22歳から81歳までと年齢差が大きく、また、平均年齢が55.8歳（内、65歳以上9名）、障害支援区分5以上が15名となっている。

利用者の動向では、平成31年度当初入所者は定員30名（男性15名、女性15名）のところ現員25名（男性11名、女性14名）であった。

(1) 年齢構成（令和2年3月31日現在）

性 別	70歳：以上	60歳代	50歳代	50歳：未満	計
男 性	4	1	1	5	11
女 性	4	4	2	4	14
計	8	5	3	9	25

(2) 平均年齢（令和2年3月31日現在）

男 性	51歳 3ヶ月	女 性	59歳 6ヶ月	平 均	55歳 10ヶ月
-----	---------	-----	---------	-----	----------

(3) 平均在園年数等（令和2年3月31日現在）

平 均 在 園 年 数	13年8ヶ月 (男性12年6ヶ月 女性14年10ヶ月)
開設当初からの在園	5名（男性3名、女性2名）
最 長 在 園 年 数 (宮野の里からの在園を含めて)	49年

(4) 障害支援区分状況（令和2年3月31日現在）

区分2	0 名
区分3	2 名
区分4	8 名
区分5	12 名
区分6	3 名

(5) 家庭状況（令和2年3月31日現在）

両 親 あ り	5 名
片 親 の み	6 名
両 親 な し	14 名

(6) 療育手帳交付状況（令和2年3月31日現在）

手 帳 A	19 名
手 帳 B	6 名

(7) 身体障害者手帳交付状況（令和2年3月31日現在）

肢 体 不 自 由	2 名
膀 胱 機 能 障 害	1 名
心 臓 機 能 障 害	3級1種 1 名
平 衡 感 覚 障 害	5級2種 2 名

(8) 入退所状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

入 所			退 所		
性別	年齢	入所年月日	性別	年齢	退所年月日及び退所理由

* 該当入退所者なし

2 健康管理

- (1) 第2宮野の里は高齢化・重度化が進んできたことに伴い、体力の衰えと各種疾患の多様化から生活習慣病による通院に加え、精神疾患による通院も多くなってきている。その為、健康観察や通院対応等の支援に努めた。
- (2) 60歳以上の利用者也13名と全体の半数以上を占め、生活習慣病については、高血圧患者4名、糖尿病患者1名、高脂血症患者1名、特定難病疾患患者3名（その内1名が内服治療中）である。この為、多くの疾病を抱えた利用者もいることから、内服薬の種類も多く適正な内服薬の管理に努めた。
- (3) 高齢化・重度化は感染性疾患に対するリスクも大きくなることから、日ごろの保健指導の徹底と、インフルエンザ等の予防接種を全員に、肺炎球菌ワクチン接種を65歳以上の利用者に行い、感染予防対策に引き続き努めた。
- また、転倒し骨折する事案も多く見られるようになってきたため、住環境の整備にも努めた。

(4) 入院の状況

年齢	性別	病名	病院名	入院期間
72歳	女性	右気管支肺炎	日赤病院	5月6日～6月27日
80歳	男性	左大腿部頸部骨折	佐々木外科病院	9月24日～11月5日（後、転院）
31歳	男性	低ナトリウム血症	日赤病院	11月20日～11月29日
31歳	男性	解離性昏迷	日赤病院	12月2日～12月4日 （9月11日前立腺生検）
80歳	男性	左大腿部頸部骨折	丘病院	11月5日～入院継続中

入院中は、洗濯物を持ち帰ったり、補充したり、様子を伺ったり、退院に向けての調整など、積極的に出向いて行き、元気に退院して来れるように努めた。

(5) 通院の状況（延べ人数259名、17診療科）

内 科 (腎臓内科、循環器内科含む)	47名	皮膚科	31名	整形外科	15名
精神科	48名	眼 科	5名	耳鼻科	7名
歯 科	40名	外 科 (乳腺外科含む)	22名	泌尿器科	29名
婦人科	2名	放射線科	7名	脳外科	3名
脳神経内科	1名	救急	2名		

(6) 健康診断・受診状況等

① 令和元年度定期健康診断等の実施状況

実施年月日	令和元年 5月7日～5月28日	令和元年 5月7日～5月28日	令和元年 10月16日	令和2年 2月27日
実施場所	奥田胃腸科内科	奥田胃腸科内科	第2宮野の里	第2宮野の里
担当医師	奥 田 道 有	奥 田 道 有	児 玉 昭 彦	奥 田 道 有
検査項目	* 39歳以下 胸部レントゲン 心 電 図 血 液 科 学 血 圧 聴 打 検 尿	* 40歳以上 胸部レントゲン 心 電 図 血 液 科 学 血 圧 聴 打 検 尿 ※大腸癌検診 ※胃癌検診 ※ピロリ菌検査	歯・歯肉 歯周囲	血 圧 聴 打 診
対象者数	10 名	14 名	24 名	24 名
要経過観察	2 名	6 名	5 名	14 名
要精密検査	0 名	7 名	0 名	0 名
要 治 療	0 名	1 名	5 名	7 名

② 定期通院を要する者

内 科	18 名	眼 科	3 名	耳鼻科	2 名
精神科	15 名	泌尿器科	3 名	皮膚科	5 名
外 科	2 名	歯 科	10 名		

③ 健康診断（月例健康診査）

診 察 日	対 象 者	医 師 名	診察内容	診察場所	備考
毎月 第4木曜日	入所利用者	奥田胃腸科内科 医師 奥田 道有	内科全般	第2宮野の里 保健室	

(7) 感染症発生状況：インフルエンザ罹患0名

3 生産活動支援

持続性・忍耐力を養い、働く喜びと勤労意欲の増進及び共同作業をすることにより他の利用者との協調性を養うことを目指して、利用者の体力や能力に応じた軽作業（箱折り作業）を実施した。

なお、これによる収入は各利用者へ支給した。

区 分	班員	作業収益	備 考
製 箱 作 業	25名	428,267円	・ 西村紙器
園 外 作 業		0円	
収入合計		428,267円	・ 利用者への支給金（年2回） * 必要経費なし、利用者へ全額支給 一人平均 1,428円/月

4 生活支援

一人ひとりの年齢や障害の程度、健康状態等に十分配慮しながら、施設での生活に安らぎと潤いがあり、温かい心の通った家庭的なサービスの提供に努めた。

(1) 日常生活支援

園内生活では、居室担当職員（支援員）を中心に、基本的な生活習慣を身につけるため、衣類の

整理整頓、身だしなみ、入浴、洗濯等の個別支援を積極的に実施した。

実施日	場 所	支 援 内 容	備考
毎 日	各 居 室	洗面、寝具の片づけ、歯磨き、洗濯、挨拶 衣類の整理整頓、私物の整理、食事、入浴 爪切り、身だしなみ、掃除、その他日常生活に関する こと	

(2) 自治会活動支援

生活全般における自主自立の心を育てるため、利用者による自治会活動の支援に努めた。

項 目	実施日	活 動 内 容	備考
自主活動	毎 日	利用者の希望のもと、利用者自身による活動 1 風呂当番（お湯はり、バスマットの準備等） 2 清掃活動（各利用者が分担して実施） 3 コーヒー当番（お湯沸し、コーヒー作り）	
自治会集会	毎 月 1回実施	寮生活上の諸問題、利用者間の問題等 学園に対する希望、要望等の話し合い、司会者も 利用者が行う	

(3) 外出支援

実施日	実施方法	支 援 内 容
毎月1回	班ごと実施 (3~4人)	1 買物支援 (衣類、本、菓子類、洗剤、ジュース類、嗜好品、 履き物等生活用品) 2 レストラン等での昼食支援等
そ の 他		利用者旅行（福岡宗像方面 7月9日・10日）

(4) 余暇活動支援

実施日	場 所	活 動 内 容	備考
毎月 1回～ 3回	園 内	カラオケ、調理、パンづくり、映画鑑賞、忘年会等	
	園 外	ドライブ 季節の花見、カラオケボックス等	
	食堂・ 作業室	誕生者を祝福しケーキを食べる。誕生者がいない月 に関しては、自治会活動として外出を実施。 レクリエーション	

(5) 支援会議開催状況

開催日	出席者	主 な 協 議 内 容	備考
毎月	施 設 長 支援課長 主 任 支援員 看護師	1 諸行事の参加の有無及び打ち合わせ・反省 2 各利用者ケース検討について 3 実習生の受け入れについて 4 利用者の通院状況について 5 諸行事の担当決めについて 6 その他利用者の支援に関すること 7 利用者の体調不良に伴う緊急時の対応について 8 その他	

5 行事・社会参加活動支援

(1) 行 事

園の生活に変化と潤いをもたせ生きがいや満足感のあるものとするため学園独自の季節行事を実施するとともに、関係団体が主催する各種行事にも積極的に参加した。

N o	行 事 名	開催日
1	利用者花見（道の駅ソレーネ周南）	4月 4日
2	山口県アイリンピック大会	5月18日
3	自治会活動（ときわ遊園地）	5月29日
4	宮野ほたる祭り	6月 8日
5	山口県知的障害関係施設親善球技大会	7月 5日
6	利用者旅行（1泊2日）福岡宗像方面	7月 9日 ～10日
7	日帰り山賊ツアー	10月 9日
8	第39回ふしの学園祭	11月 9日
9	ボウリング大会（第2回ふしのカップ）	11月29日
10	利用者忘年会	12月25日

(2) 開かれた施設づくり

地域社会と共に育ち、地域の人々に支えられて存立し、地域福祉のネットワークの中の施設として、地域行事への参加、福祉系大学からの実習生の受け入れ、学園広報誌の配布等、開かれた福祉施設づくりに努めた。

	実 施 内 容	対 象 者 等	実 施 月 日
1	施 設 体 験 実 習	中村女子高等学校 3名	5月22日～5月31日
2	施 設 体 験 実 習	宇部フロンティア大学 短期大学部 2名	8月8日～8月30日
3	ソーシャルワーク実習Ⅱ	山口県立大学社会福祉学部 2名	8月19日～9月10日
4	保 育 実 習（Ⅰ・Ⅱ）	山口芸術短期大学 2名	9月4日～9月18日
5	施 設 一 日 見 学 実 習	山口芸術短期大学 13名	10月23日
6	施設一日見学実習	山口学芸大学1日実習 10名	11月15日
7	ソーシャルワーク実習Ⅰ	山口県立大学社会福祉学部 4名	前半（2名） A：11月6・13・20日 B：11月27日 12月4・11日 後半（2名） A：2月17日～21日 B：3月2日～3月6日
8	ふれあい型給食サービス事業 （平成12年10月5日からの 調理受託事業）	実施日：毎月1回（第1木曜日の昼食） 対 象：宮野地区在住の65歳以上の一人暮らしのお年寄り 事業主体：宮野地区社会福祉協議会 受 託 料：70万円	
9	施設見学者受入	総合支援学校、待機登録希望者本人及び保護者、 他施設保護者・職員等	
10	学園広報誌の発行	行政、施設関係、地域の家庭へ広報誌「ふしの学園 だより」を、年2回発行（5月・10月）・配布	
11	マイクロバスの貸し出し	宮野地区社会福祉協議会へ貸し出し	

6 保健・給食・安全

(1) 体力の保持増進及び保健衛生指導

利用者個々人の特性に応じた保健指導を充実する等、一人ひとりの健康管理を重視した支援に努めた。

実 施 日	場 所	内 容	備考
平 日 毎 日	作業室	ラジオ体操、竹踏み、あいうべ体操、足踏みウォーキング	
毎月第3木曜日	作業室	3B体操（外部講師による体操）	
毎 日	居室棟	手洗い・うがいの励行、歯磨き指導、義歯の洗浄	

(2) 保健・給食月別実施状況

① 年間を通じた給食の実施方法

項 目	内 容
個人別食事摂取基準量	個人別食事摂取基準量を把握し、質量とも個人にあった食事を提供することにより、生活習慣病予防に努めた。
季節行事食	季節や行事にあった行事食などを実施し、より家庭的な食事の提供に努めた。

②保健給食年間業務

月	保健給食月目標	保 健	給 食	そ の 他
4	○歯磨きをていねいにしましょう。 ○食器を持って食べましょう。	身長測定 体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 個人別食事摂取基準量の設定 ・ 厨房内害虫駆除 ・ 春献立	保健給食会議
5		体重測定 定期診療 (内科・神経科) 大腸癌検診 健康診断 (前期)	・ 春献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議 病虫害駆除 (館内) 受水槽清掃
6		体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 初夏献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議 水質検査 (上水、井水)
7	○汗をかいたら着替えましょう。 ○冷たい物を飲み過ぎないようにしましょう。	体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 夏献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議
8		体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 夏献立 ・ 厨房内害虫駆除	病虫害駆除 保健給食会議
9		体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 秋献立 ・ 厨房内害虫駆除 ・ 嗜好調査	保健給食会議

10	○身体をきれいに洗 いましょう。	体重測定 定期診療 (内科・神経科) 歯科検診	・ 秋献立	保健給食会議
11		定期診療 (内科・神経科) 体重測定 インフルエンザ 予防接種	・ 厨房内害虫駆除 ・ 秋献立 ・ 厨房内害虫駆除	飲料水の貯水槽 の管理 水質検査 (上水) 保健給食会議
12		○腹八分を心がけま しょう。	体重測定 定期診療 (内科・神経科) 健康診断 (後期)	・ 冬献立 ・ 厨房内害虫駆除
1	○風邪をひかないよ うにうがい手洗 いをしましょう。 ○好き嫌いなく食 べ ましょう。	定期診療 (内科・神経科)	・ 冬献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議
2		体重測定 定期診療	・ 冬献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議
3		体重測定 定期診療 (内科・神経科)	・ 春献立 ・ 厨房内害虫駆除	保健給食会議
備 考 2年に1回乳がん検診実施 (本年度は7月31日に実施)				

(3) 保健給食会議開催状況

関係者による保健給食会議を毎月開催し、個人ごとの健康状態・県内での感染症や食中毒発生状況の情報交換や協議し、利用者の健康保持・感染症予防に努めた。

項 目	開 催 日	出席者	主 な 協 議 内 容
保健給食 会 議	毎月 第1金曜日	施設長 支援課長 主 任 看護師 栄養士 調理員	1 利用者個人毎の摂取基準量提供エネルギーの検討 2 食材への異物混入経緯と対応（報告） 3 井戸水と浄水タンクの清掃について 4 非常食と停電時の対応の確認 5 刻み食についての（対象者・形状） 6 嗜好調査結果について 7 インフルエンザ予防接種について 8 その他

(4) 安全対策

安全対策では、昼夜を想定した火災時・風水害時の避難訓練実施や、消防設備・電気設備の適正な維持管理に努めた。また、不審者の侵入を防ぐ等安全面の強化のため、夜間の施錠の確認・巡回を継続して行った。

項 目	実施回数	実 施 内 容	業務委託先等
消防訓練 避難訓練	年 4回	消防訓練（機器取扱訓練含む） 避難訓練（消防2回、風水害・地震1回）	学園で実施 （防火管理者選任）
電気工作物 点 検	2ヶ月毎 実 施	受電設備、構内電線路、非常用 予備発電装置等の点検	（財） 中国電気保安協会
消防設備 機器点検	年 2回	消防設備・機器点検 消防設備総合点検	（有） ハッタ防災山口

7 短期入所事業（ショートステイ）、日中一時支援事業

項目	件数	延日数
短期入所	15	46
日中一時支援	0	0

8 保護者との連携

利用者に対するサービスの向上をはじめ、開かれた施設・信頼される施設づくりのため、保護者の皆さんや保護者会との連携に努めた。

また、保護者向けの広報誌を宮野の里と合同で発行し、各保護者へ配布した。

項 目	業 務 内 容
保護者会・総会参加	1 開催日 総 会 令和元年5月10日 保護者会 令和元年8月9日・12月13日 2 場 所 宮野の里会議室 3 参加者 保護者、職員
広報誌の発行	1 名 称 「糸でんわ」 2 回 数 毎月発行（第359号～370号） 3 配布先 保護者ほか

9 苦情処理

(1) 苦情受付担当者等

名 称	職 名	氏 名	備考
苦情解決責任者	施設長	光永 淳	
苦情受付担当者	支援課長	岡崎 千恵美	
	生活支援員	右田 諒	

(2) 苦情解決第三者委員

氏 名	役 職
平野 充好	前京都女子大学教授、元山口大学副学長
伊藤ルリ子	人権擁護委員、元民生・児童委員
杉山 昭郎	ふしの学園を育てる会会長、元民生・児童委員

(3) 苦情解決第三者委員会議

3月に開催予定を中止（感染症対策）

10 施設の管理運営

(1) 職員会議開催状況

開催日	主な協議内容	備考
毎月 第1金曜日	1 業務の振り返りチェックシートについて 2 職員親睦会について 3 諸行事の実施及びその反省 4 36協定に係る職員代表について 5 職員セルフチェックリストの実施について 6 夏期特別休暇について 7 感染管理について 8 作業工賃支給について 9 県指導監査について 10 防災マニュアルについて 11 ふしの学園祭について 12 その他	

(2) 経費節減対策

対 象 品 目	内 容
プロパンガス、灯油 ガソリン及び軽油 精米	年間に大量購入する左記の物品について、数社の専門業者に見積りを依頼し、宮野の里と共同で単価契約を実施。価格改定の場合は、変更契約を実施。 プロパンガス：4社 灯油：2社 ガソリン・軽油：2社 精米：6社

(3) 職員の研修等

① 外部研修等

No	研 修 会・会 議・大 会 名	開催地	開 催 日 時
1	山口市地域自立支援協議会及び各部会研修会	山口市	4月18日、6月28、8月19・30日、9月25日、10月31日、12月10日、2月3・13日
2	医療保健研究部会及び運営委員会	山口市	4月17日・7月18日・11月11-12日・2月6日
3	支援スタッフ研究会	山口市	5月27日・9月5日
4	施設長研修会	山口市	6月3日
5	安全運転管理者協議会通常総会	山口市	5月9日
6	山口県知的障害者福祉協会幹事会	山口市	6月3日
7	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	山口市	6月26・27日
8	ソーシャルワーク研修	山口市	7月30-31日
9	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（初任者コース）	山口市	8月1日-2日
10	安全運転管理者等講習会	防府市	10月8日
11	中国地区支援スタッフ委員会	広島県	8月26日
12	カウンセリング（技法）研修	山口市	9月4-5日
13	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダーコース）	山口市	9月19-20日
14	権利擁護研修	山口市	10月16日
15	障害者（児）福祉施設等保健担当職員研修	山口市	10月29日
16	給食部会研究会	山口市	10月29日
17	障害者虐待防止・権利擁護研修	山口市	11月8日・12月16日
18	山口社会保険委員会セミナー	山口市	11月12日
19	山口県知的障がい施設福祉振興大会	岩国市	11月21日
20	山口県知的障害者福祉協会 防府・山口圏域会議（研修会）	山口市	12月5日

21	年末調整及び軽減税率等説明会	山口市	11月21日
22	山口県知的障害者福祉協会中部地区部会	宇部市	12月10日
23	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	山口市	12月16-17日
24	障がい者の暮らしについて理解を深める市民講座	山口市	1月19日
25	山口・吉南地区地域ケア連絡会議、山口市介護サービス提供事業者連絡協議会合同研修会	山口市	2月2日
26	社会福祉法人会計研修会（決算実務研修）	山口市	2月4日
27	山口県知的障害者福祉協会 管理運営部会、経理事務研究会	山口市	2月13日
28	山口・防府市役所障害福祉課管轄合同 山口・防府圏域障害者ケアマネジメント研修会	山口市	2月21日

② 内部研修（復命・伝達を兼ねる）

- ・「嘔吐物処理についての簡単な実技について」
講師 第2宮野の里職員
場所 第2宮野の里支援員室
日時 1月10日
- ・「山口県強度行動障害支援者養成研修（実践研修）について」
講師 第2宮野の里職員
場所 第2宮野の里支援員室
日時 1月10日

1 1 職員の健康管理

(1) 健康診断

夜勤職員（8名）：年2回実施
その他職員（13名）：年1回実施

(2) 栄養士・調理員の保菌検査・・・毎月実施

(3) インフルエンザ予防接種・・・・・・・・・・20名接種